

# 在宅医療

講義担当者

紀北分院内科

教授 廣西 昌也

## I 一般学習目標

日本の医療行政における在宅医療の位置づけと意義、在宅医療構成チームにおける医師の役割、在宅医療の実際について概要を理解する。

## II 個別学習目標

1. 在宅医療の社会的意義を説明できる。
2. 「在宅医療」におけるヘルスケアのアプローチ（目的志向型）を説明できる。
3. 特定機能病院における医療アプローチ（問題志向型）と「在宅医療」の相違を説明できる。
4. 往診と訪問診療の相違を説明できる。
5. 訪問診療の診療体制と組織マネジメントについて説明できる。
6. 在宅診療における地域連携について説明できる。
7. 在宅主治医の役割と業務内容を説明できる。
8. 在宅療養の適応となる疾患・病状について説明できる。
9. 在宅療養における緩和ケアについて説明できる。
10. 在宅医療における「看取り」について説明できる。

## III 教育内容及び講義日程表

No.	月 日	曜日	時限	タイトル	内 容
1	R4. 10. 13	(木)	1	在宅医療 I	在宅医療の概要と実際
2	R4. 10. 20	(木)	1	在宅医療 II	チーム医療と在宅ケア

## IV 教育方法

講義：テーマに基づき適宜プリント、スライド、ビデオ教材を使用する。

## V 評価の方法

在宅医療の総合的な知識・技能の習得度・達成度を評価するものとし、レポート試験において60%以上の正答率が必要である。講義の出席率も評価される。出席率・態度が優秀であれば、試験の総得点の10%以内の加点を行う場合がある。無断欠席など社会常識にそぐわないような態度がみられた場合、総得点の10%以内の減点も行う。

## VI 推薦する参考書

大石佳能子 監修

川越 正平 著・編集

福原信義 後藤清恵 編

在宅医療 経営・実践テキスト

在宅医療バイブル 家庭医療学, 老年医学, 緩和医療学の3領域からアプローチする

神経難病患者におけるサポートマニュアル

ー心理的サポートと集団リハビリテーションー